

地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業計画書

1. 基本情報

自治体名	他市町村との連携	事業番号	事業名			
福島県	－	A-9	避難地域の交流・関係人口創出に向けた首都圏イベント開催事業			
事業実施年度	当該年度総事業費	経費区分（該当区分に○を入力）				
R 8 年度	1,756,007 千円	①情報発信事業			②外部人材活用	
事業費	左記 事業費のうち 国費負担分	i 風評動向調査	ii 体験等企画実施	iii 情報発信コンテンツ 作成	i 企画立案のための外 部人材の活用	ii 地域の語り部の育成
66,000 千円	33,000 千円		○			

2. 風評等の現状や課題、これまでの取組

[illegible]

上記の取組における成果について

令和 6 年度の成果は以下のとおり

- ・インターネットを活用した関係・交流人口の促進に係る情報発信：ランディングページのユニークユーザー数 1,160,795 人
- ・テレビドラマ制作：視聴世帯数及びインターネット再生数（Tver 等）の合計で、のべ約 5,100 千回のリーチを獲得。

3. 事業内容の詳細

今年度の具体的な取組内容 ※以下の項目に沿って記載をお願い致します。

1. 避難地域の交流・関係人口創出に向けた首都圏イベント開催事業

- ①実施期間：令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月
- ②実施体制：単独（市町村連携あり）
- ③実施場所：東京都内
- ④概算費用：66,000 千円
- ⑤実施内容：

以下とおり、のイベントを開催する。（10～11月にかけての土日での開催を想定）

○開催目的

本県との地理的な近接性や交通利便性を有している首都圏において、12市町村等の魅力を発信し、当該地域の認知度を高めることで、交流人口や関係人口の更なる拡大を目指す。

○場所

東京都内の大規模イベントスペース（具体的な場所は今後調整）

○イベントのメインターゲット

旅行等の余暇活動や体験学習、地域との交流機会に対する関心が高く、継続的な訪問や地域との関係構築へと発展する可能性を有することから、首都圏在住の 20～40 代の世帯をメインターゲットとする。※メインターゲット以外の参加も可

○イベント内容

・主に 12 市町村の団体・事業者を中心としてブースを出展する。

※ 地元の食材を生かした食の魅力の発信（グルメや特産品の販売）、震災・原発事故からの復興のあゆみや挑戦する人々の姿などのブースを展開。

12 市町村を中心とした自治体 PR ブースも展開する。

・12 市町村を中心とした地域の伝統芸能（例として原発事故で存続が危機的な状況となったものの、地元保存会や学生により復活した南津島の田植え踊り（浪江町）など）や福島県にゆかりのあるアーティストや県内出身のタレント等によるステージイベントの実施も計画している。

※イベント内容の詳細については、プロポーザルで事業者から企画提案いただくため、現時点での想定。

⑥「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

・各自治体の PR ブースにおいて、12 市町村による飲食物販売・地域産品を販売する際に食品の安全性を P R するとともに、復興の歩みや福島県の今を発信するブースも展開する。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

・事業者等による飲食物販売・地域産品の販売や、伝統芸能等のステージイベントの展開により、12 市町村を中心とした福島県の魅力を首都圏に向けて発信する。

4. 事業における目標等

今年度におけるアウトプット ※定量的な目標に限る	今年度におけるアウトカム ※定量的な目標に限る
イベントの来場者数 8,000 人	福島県に対する良いイメージを持っている人の割合 50%以上 (出典：福島県風評・風化対策分析強化事業（サンプル数：2000 名以上）)
長期的な目標 ※1 つ以上は定量的な目標を設定	長期的な目標の現在の進捗状況 ※達成度合いも記載（○%）
福島県に良いイメージを持っている人の割合：50%以上の継続 (出典：福島県風評・風化対策分析強化事業（サンプル数：2000 名以上）)	福島県に良いイメージを持っている人の割合：49% (出典：福島県風評・風化対策分析強化事業（サンプル数：2000 名以上）)